

4x4 SVS

A-RB

Scorpion Mg 1000 / 1001

取扱説明書 SHIMANO

このたびはシマノスコピオンMgシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 スコピオンMgシリーズはシマノベイトリールの特徴を生かした上で、超軽量を追求し、淡水・海水を問わず使用していただける、小型で精密な設計を行ったベイトキャストリールです。
 スコピオンMgシリーズの機能をフルに引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存して下さるようお願い申し上げます。

株式会社シマノ全国サービスネット

- 株式会社シマノ 北海道営業所
〒001-0034 札幌市北区北34条西10-6-21 TEL.(011)716-3301
- 株式会社シマノ 仙台営業所
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10 TEL.(022)232-4775
- 株式会社シマノ 埼玉営業所
〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1 TEL.(048)772-6662
- 株式会社シマノ 東京営業所
〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL.(03)3744-5656
- 株式会社シマノ 千葉営業所
〒284-0045 千葉県四街道市美しが丘1-30-11 TEL.(043)433-1780
- 株式会社シマノ 静岡営業所
〒410-0807 静岡県沼津市錦町674 TEL.(055)962-3983
- 株式会社シマノ 名古屋営業所
〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21 TEL.(052)331-8666
- 株式会社シマノ 大阪営業所
〒590-8577 大阪府堺市老松町3-77 TEL.(072)223-3920
- 株式会社シマノ 中国営業所
〒700-0941 岡山市青江6-6-18 TEL.(086)264-6100
- 株式会社シマノ 四国営業所
〒768-0014 香川県観音寺市流岡町1496-1 TEL.(0875)23-2220
- 株式会社シマノ 九州営業所
〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6 TEL.(0942)83-1515

株式会社シマノ釣具事業部

本社：〒590-8577 大阪府堺市老松町3丁77番地

商品の性能、スペック、カタログ、イベントなどに関するお問い合わせ

フリーダイヤル ☎ 0120-861130 (ハローイイサオ)

受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00 (土・日・祝祭日除く)

釣具サービス課：〒592-8331 大阪府堺市築港新町1-5-15

商品の修理、パーツなどアフターサービスに関するお問い合わせ

TEL.(072)243-2851 / FAX.(072)243-2860

シマノホームページアドレスは <http://www.shimano.com> です。

シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込み

も受け付けています。

Printed in Japan (031218) 028

各部の名称と特徴 右ハンドル(1000)のイラストで説明しています。

錆に強いボールベアリングA-RB内蔵

全てのボールベアリングはシマノ独自の表面処理により防錆効果を飛躍的に高めた「A-RB (Anti-Rust Bearing)」を採用しています。



超々ジュラルミン製メインギヤ&メインギヤ軸

軽量かつ高強度を実現するために、メインギヤとメインギヤ軸の材質に超々ジュラルミンを使用しています。

クイックファイア II

クラッチフリー操作と同時にスプールをサミングできるシステムです。ムダな操作がなくなり、チャンスを逃がさずにキャストできます。

ドラッグ

右ハンドルの1000の場合、ハンドル側から見て時計回りに回すことで、ドラッグが締まります。

左ハンドルの1001は回す方向が反対になります。

カーボンワッシャーの採用で耐水性とスムーズさを高めています。

マグネシウム一体成型フレーム

軽量かつ高剛性を実現したマグネシウム素材によるフレームを採用しています。

独自の表面処理により、海での使用も可能にしました。

裏面「リールのお取り扱い上の注意・メンテナンス方法」もご覧ください。

右/左ハンドル専用形状

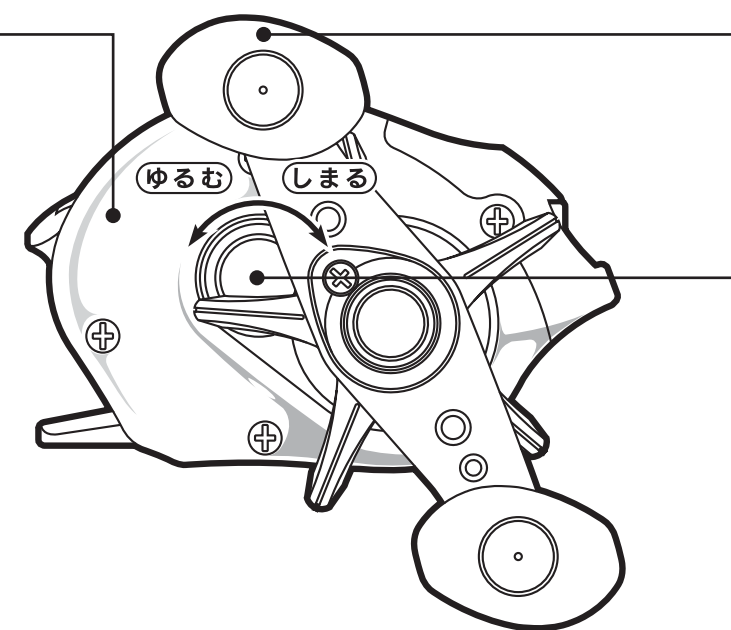
右手/左手でつまむことを前提とした、異形状でフィット感の向上と疲労を軽減。

左ハンドルの1001は、ハンドル固定ナットが逆ネジになっていますので、取り外しの際にはご注意ください。

仕様

機種名	製品コード	ギヤ比	標準自重 (g)	最大ドラッグ力 (N/kg)	ベアリング (ボール/ローラ)	糸巻量 (号-m)
SCORPION Mg 1000/1001	1000:RH433000 1001:RH434000	6.2	175	39.2/4.0	4/1	3-100 3.5-90 4-80 5-65

糸の標準直径(m/m)： 3号- 0.285 3.5号- 0.310 4号- 0.330 5号- 0.370
 製品改良のため、仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
 ボールベアリングはシマノ独自の表面処理により防錆効果を飛躍的に高めた「A-RB (Anti-Rust Bearing)」を採用しています。
 付属品： リール袋、スベアブレーキブロック、レンチ、脚裏保護シール、オイル



スーパーストッパー

ハンドルをどの位置で止めてもピタッと逆転が停止します。気になるガタつきもなく、フッキング時のタイムロス、パワーロスを防ぎます。

キャストコントロール

キャストコントロールはスプールの回転にブレーキをかけるものです。右ハンドルの1000・左ハンドルの1001ともにハンドル側から見て、右に回すとスプールのフリー回転にブレーキがかかり、左に回していくと、そのブレーキは弱くなります。一般的な調整は次のように行います。

リールをロッドにセットして、ガイドに糸を通し、使用するルアーを結びます。ロッドを水平にして、クラッチを切り、ルアーがゆっくり落ちていく程度からスタートしてください。

キャストコントロールを緩めて投げますと機構上、接触音を発する場合があります。これは故障ではなく、緩めすぎの状態です。

スーパーフリー&ブランキングスプール

スプールの滑らか、かつ軽いフリー回転はベイトキャストリールにとって命ともいえるものです。

スーパーフリースプール

フリースプール時にはベアリング以外、他のものにいっさいタッチしません。従来のようにピニオンギヤ内面とスプールシャフト間の摩擦が無いため、きわめて滑らかな回転が実現しました。

超々ジュラルミンブランキングスプール

超々ジュラルミンの強度を生かしスプールを可能な限り軽量化。慣性力が少なく、遠心力ブレーキともあいまって軽い回転の立ち上がりを実現しています。

軽いルアーのキャストやピッチング、ひいては超遠投性能も向上させました。

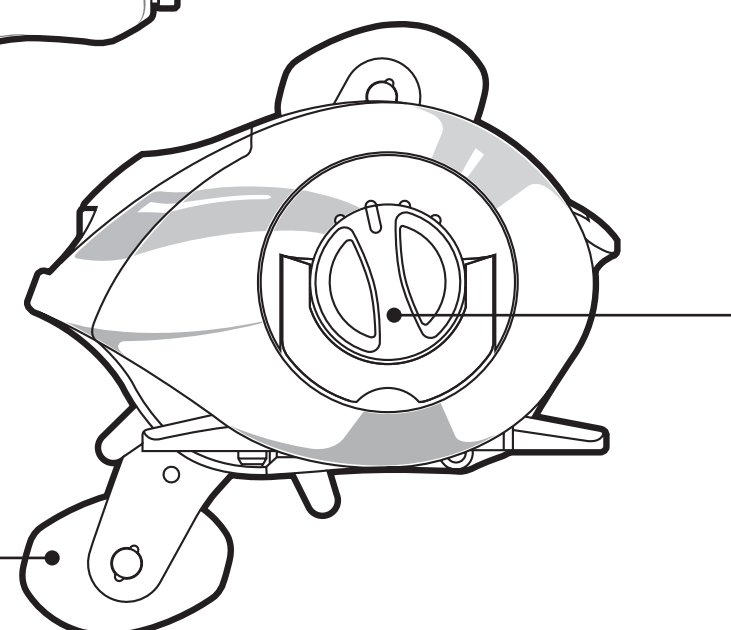
慣性力軽減のためスプールのエッジは極限まで薄く設定されていますので、取り外しの際の取り扱いには特にご注意ください。



4x4シマノバリエブルブレーキシステム

従来のSVSで4段階、それぞれにダイヤル操作で4段階の計16段階の調節が可能。状況の変化に応じてすばやくブレーキ力を調節できます。

4x4 SVS



4×4SVS(可変遠心力ブレーキ)

4×4SVS=4×4 SHIMANO VARIABLE BRAKE SYSTEM (4×4シマノバリアブルブレーキシステム)

“4×4SVS”は、釣場でのスピーディなブレーキ調整が簡単にできます。ルアーのウエイト、空気抵抗、そして風のフォロー、アゲインストなど、さまざまな釣場状況に応じて適正なブレーキ力をかけることが可能となり、バックラッシュを効果的に防ぐとともに、遠投が可能となります。

リール内部に取り付けられたSVSブレーキブロック6個の内、3個を手動で4段階(0~3個)・残りの固定された3個をダイヤル操作で4段階(0~3個)ON/OFFすることにより、組み合わせで計16段階のブレーキ力調整が可能なシステムです。
まずは左サイドプレートを開けて(4×4SVS調整をする時の分解方法の項参照)1.手動による基本調整を行い、あとは2.外側のダイヤル操作で状況の変化に応じてブレーキ調整を行ってください。手動でONにしたブロック数に、プラスするブロック数をダイヤルのMIN.~MAX.(0~3個)で調整することが可能です。

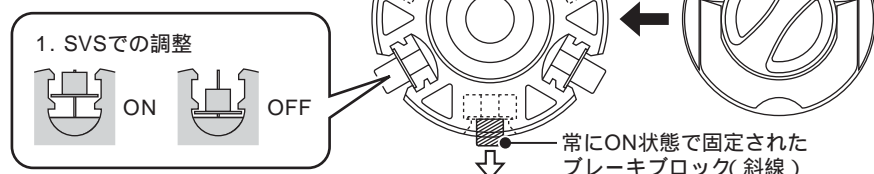
1. SVSでの調整

下図のように、外側と内側のストッパー間にブレーキブロックを押し上げれば“ON”となり、内側のストッパー下に押し下げれば“OFF”となり、また外側のストッパーから押し出せば交換が可能となります。パーツケースの中にリールに組み込まれている大きさと同じブレーキブロック(クリア)と、ひと回り大きいブレーキブロック(グレー)をそれぞれ3個、スベアパーツとして付属させています。大きさの異なるブロックの組み合わせを、スプールにセットすると、より微妙な調整が可能になります。もちろん、ONの数が多いほどブレーキ力は強くなります。お買い求めいただいた糸を巻き、このリールで初めてキャストするときには、3個のブレーキブロックをすべて“ON”にされることをおすすめします。その後“ON”のブロック数を調整してください。

ブレーキブロックは4×4SVS専用ブレーキブロックをご使用ください。

ブレーキブロック詳細

	クリア		グレー
Mサイズ	Lサイズ	Mサイズ	Lサイズ
ブレーキ力小	ブレーキ力大	ブレーキ力小	ブレーキ力大



2. ダイヤルでの調整

右図のようにダイヤルを矢印の方向に回すことで、内部のリングが段階的に移動し、斜線部で表示された常にON状態のブレーキブロックに触れていきます。これによりブレーキ力が強くなります。反対に回すと弱くなります。

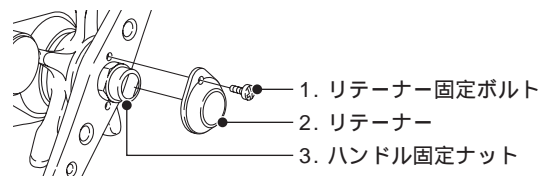
ダイヤルは4カ所のくぼみに合わせた位置で止めてください。中間で止めないようお願いします。ダイヤルで調整するブレーキブロック(斜線)の交換はできません。

ハンドル脱着時のご注意

ハンドルの脱着をされる場合は次の手順で行ってください。

ハンドル固定ナットは左ハンドルの1001の場合、逆ネジとなっておりますので、特にご注意ください。

1. リテーナー固定ボルトを外す。
2. リテーナーを外す。
3. ハンドル固定ナットを付属のレンチで外す。左ハンドルの1001は逆ネジです。取り付け時は逆の順番で行ってください。



メンテナンス方法

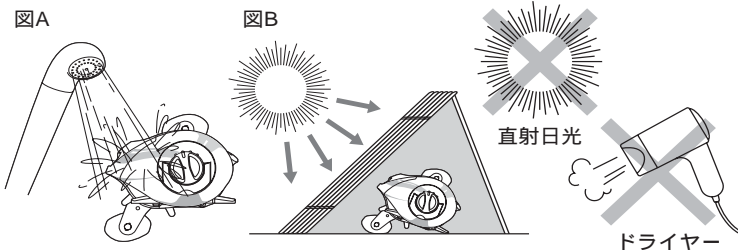
保管上のご注意

海でのご使用後は、下記「海での使用後の基本的なメンテナンスの方法」で塩分を取り除き、良く乾燥させて保管ください。保管の際は必ず竿から取り外してください。

高温多湿で閉ざされた空間(自動車のトランク、ボートのストレージなど)に放置されますと、特にマグネシウム部品の耐蝕性を維持できなくなる恐れがあります。よく乾かして風通しの良い場所に保管してください。マグネシウム製の部品は特殊表面処理の被膜で耐蝕性を保っています。硬い物とぶついたり、こすり付けることで傷が付き被膜が破れますと、耐蝕性が維持できなくなりますので充分にご注意願います。

海での使用後の基本的なメンテナンス順序

1. 水洗い...シャワー等の真水で1~2分間水洗いしてください。 図A
スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくことさらに効果があります。
温水はグリスを洗い流す可能性があるためお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。
2. 乾燥...直射日光を避け、陰干ししてください。 図B
直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。
3. オイル注油...後記「オイル注油箇所」の図で示す部分に、ごく少量オイルを注油してください。付け過ぎはかえって回転を悪くする場合があります。



お願い

- ・リールの状態は使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく異なります。回転時のゴロつき、引っ掛かりの症状が出た場合は、直ぐさま弊社サービスへ、そうでなくとも半年に1度はお預けいただくことをおすすめいたします。最寄りの小売店にてお受けしております。
- ・リールを水没させ数時間放置しますと、ドラッググリスが水に流れ出てしまいます。ご注意ください。
- ・オイル、グリス類は当社指定のもの(SP-003H、SP-013A、SP-023A)をお使いください。そうでない場合の品質の保証はいたしかねます。ご注意ください。
- ・釣行後は竿にセットしたままにせず、リールをはずして水洗いしてください。竿にセットした状態で水洗いされましても、リールシートのフード部とリールの脚に溜まった海水を洗い流せない事がしばしばあります。
- ・A-RB(耐塩水ベアリング)は錆び難いベアリングです。ベアリング内部に塩水が侵入する(塩噛み)のを防ぐものではありません。

ベアリングの塩噛みについて

基本的なメンテナンスを怠ると、ベアリング内部に塩水が残り、乾燥して塩噛みを起こす恐れがあります。錆びている訳ではありませんが、同様に音鳴り、ゴロ付き等の症状が出ます。乾燥した塩を拭拭する事は殆ど出来ません。例えA-RBであっても、完全な解消方法はベアリングの交換しかありません。ご注意ください。

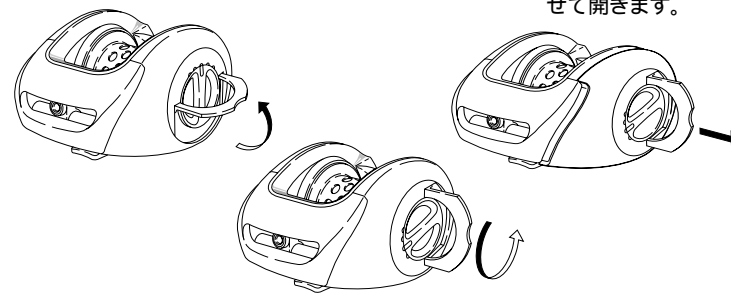
水没した際の応急処置

1. 水抜き...内部に侵入した水を抜いてください。
2. 水洗い...前記「海での使用後の基本的なメンテナンス順序」をご参照ください。
3. 乾燥...前記「海での使用後の基本的なメンテナンス順序」をご参照ください。
4. オイル注油...後記「オイル注油箇所」をご参照ください。オイルの付け過ぎはかえって回転を悪くする場合があります。
長く噴霧させると逆流します。決してグリスプレーは使用しないでください。

4×4SVS調整をする時の分解方法

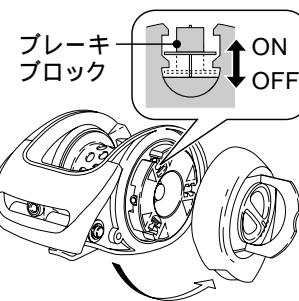
右ハンドルの1000のイラストで説明しています。

1. サイドブレーキレバーを起します。
2. 反時計方向に完全にゆるむまで回します。
3. サイドプレート全体を支点を軸にスライドさせて開きます。



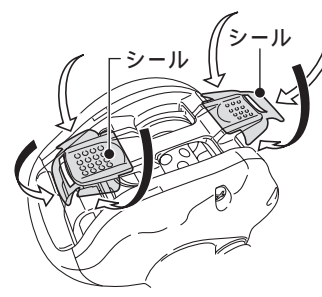
4. サイドプレートをそのまま下に回すと、スプールと4×4SVSのユニットが現れます。

スプールを取り外す場合はスプールのラインを巻く面をつまんで、サイドブレーキ側に抜くとロックが外れ、サイドプレート側から取り出すことができます。ブレーキブロックをONの位置に押し上げるとブレーキが働き、OFFの位置に押し下げるとブレーキはききません。



リール脚裏保護シールの使用方法

スコープイオンMgシリーズを装着する竿のリールシートが金属製の場合、付属のリール脚裏保護シールを装着していただくことをおすすめします。リールシートとの干渉による特殊表面処理層の損傷を和らげ、耐蝕性を維持する効果があります。



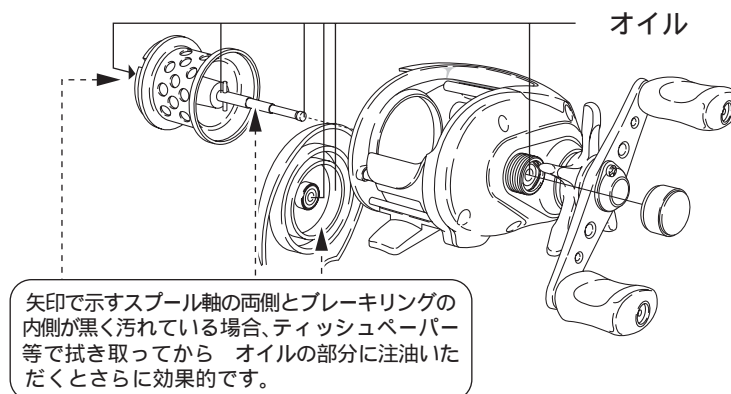
お願い

以上はあくまで応急処置です。不意に水没された場合は、できるだけ早く当社のメンテナンスを受けられるよう、最寄りの小売店にお預けください。

メンテナンス価格はおおよそ¥3,000プラス部品代になりますが、状態によって異なります。

オイル注油箇所

スコープイオンMgの優れた性能を長く維持するために、図の印の箇所にはリールに付属の専用オイル、またはシマノリールメンテスプレー(セット)SP-003Hのオイルスプレー、シマノリールオイルスプレーSP-013Aをまちがえないように噴霧してください。(シマノ以外のオイルは使用しないでください。)オイルはごく少量で充分です。特にベアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいてください。



リールのお取り扱いの注意

本リールは精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。

ご使用上の注意

砂・泥・泥水はリールの大敵です。ご使用中、リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や泥水が入ると、思わぬトラブルの原因となることがあります。根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。

リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バック内での他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。

お手入れの方法

各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させてください。

また、湯水をかけたり、水に浸して洗ったりしないでください。特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。

ドラッグ部分には、絶対にオイルを付けないでください。オイルが入ると、ドラッグ力が低下することがあります。

高温、高湿の状態が長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記のお手入れを実施後、風通しの良い場所で保存するようにしてください。

ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようにご注意ください。

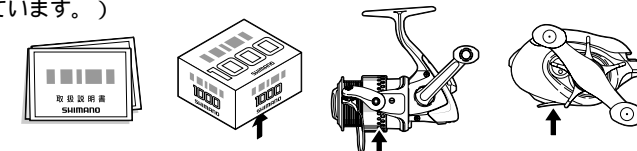
リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。お手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様のお電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に(例/ストッパーが働かない)お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所・本社(フリーダイヤル)または釣具サービス課へお問い合わせください。修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。

ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは、分解図をご覧いただき、商品名・製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、ご注文ください。(内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。)

例/製品名:ステラFW1000S 部品番号:2
製品コード:SC78B010 部品名:スプール

製品コードの位置
取扱説明書・分解図・パッケージ底面部・製品(コードの上5ケタを表示しています。)



安全上の注意

ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 注意	
	糸をリードするレベルウィンドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをすることがあります。ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをすることがあります。
	糸が勢よく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。
	回転しているスプールには触れないでください。けがをすることがあります。